

## 上美生地域の人たちには 特有の「気質」がある

上美生地域には、「上美生気質」という地域の気質があるといいます。

これは、「議論はするけれど、意見がまとまれば1つになって自分たちの考えを実現させる」ということを意味しているのだそうです。

では、なぜこのような気質が生まれたのでしょうか。それには、2つの理由が考えられるといわれています。1つは、団体入植がなく、縁故を頼って集まったため、縄張り意識や生活習慣が持ち込まれなかったことです。もう1つは地理的な理由です。

前述のとおり、この地域は厳しい自然状況により隔てられた地域です。そのため、何をやるにしても、お互いに協力しなければ生活できませんでした。その中で幾多の試練を経て、お互いの異なる文化が融合して、自主・自立の独自の気質をつくり出してきたのです。

その気質は、今でもこの地域の人たちに受け継がれているといいます。地域の仲間を大切にし、お互いに助け合い協力し合うこの気風によって上美生地域はつくられているのです。



## 共に助け合い 互いを尊重し合う心

## 伝統と新たな風の融合が、進化した 上美生の気風をつくっていく

近年、この地域には町外からの移住者が多く移り住み、開拓時代に移住してからずっとこの土地に住み続けている人、そして新たな生活を求めて移り住んで来た人、それぞれの「移住者」がこの地域に「同居」しています。

この地域では、現在でも毎年何人かの人が町外から移り住んでいます。それは、「たらんぼの会」によって移住者同士の相互交流の場、移住者と先住者とのコミュニケーションの場が設けられるなど、住みやすい環境が整えられているからかもしれません。

移住者の中には、音楽活動をしている村田博之・祐里子夫妻をはじめ、作家活動をしている石村由有子さんやハーブ栽培している矢村良彦・まゆみ夫妻など、さまざまな職種の方がいるのも特徴です。

しかしながら、上美生地域でも「まち」として落ち着くまでには相当の時間がかかったといいます。

現在、約80戸近くある市街地の中で、30年以上前から住み続けている世帯は約20戸しかありません。そのほかは、転勤や移住などによってこの地に住んでいるという方ばかりです。当初は、いろいろと意見も食い違うこともあったそうですが、今ではお互いがお互いを尊重し、これまでの伝統と新たな風をうまく融合させながら暮らしています。

地域の人を大切にしようという上美生の気質が移住者を温かく迎え、また移住者によってこの地域の気風が新たにつくられようとしています。

(写真上) 地域運動会の応援に駆けつけた地域の人たち。  
この地域では子どもからお年寄りまでみんながイベントに参加して楽しんでいる。  
(写真下)「たらんぼの会」主催の食事会の様子。地域の人たちが料理をふるまい、参加者をもてなす。

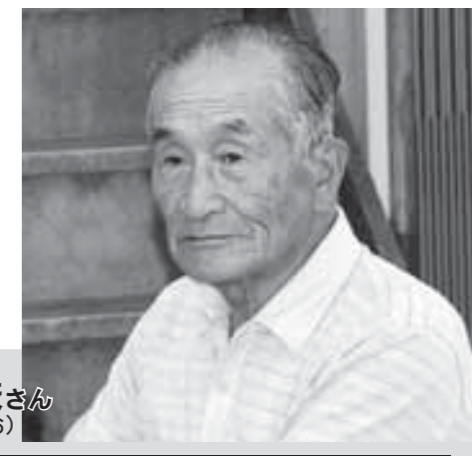


## 地域に住む人に聞く

### 先住者の声 上美生人の気質を誇りに

上美生地域の開拓は、全国各地から集まって来た人によって行われました。そこで地域組織をつくり、新しい生活習慣を生み出しました。不便でも自分たちの力で何とかしようと、結束力は強まりました。そこで培った共に助け合う「上美生人」としての気質は、現在にも受け継がれていると思います。

最近では、町外から移住する方が多くなりました。残念ながら、私自身あまり接する機会がありません。ただ、1つ言えることは、新たに住む方がいるということはこの地域に何か魅力があるのだということです。そんな地域を、私は誇りに思っています。そしてこれからも、「上美生人」としての気持ちを持ち続けていきたいですね。



萩 巖さん  
(おぎ いわお)

両親の入植以来、この地で暮らし、上美生の歴史と共に歩んできた。昭和46年から24年間は町議会議員として活躍、うち12年間は議長も務めた。大正13年生まれ。上美生在住。

### 移住者の声 人の温かさを実感

ここへ来るまでは、人との付き合いや、生活環境など不安な面はありました。しかし、上美生市街地には郵便局や商店があって便利ですし、地域の人たちも親切にしてください。ここへ来て、人との付き合いは多くなりました。私は転勤族でしたので、これまでは会社から取引先の人くらいしか付き合いはありませんでした。ですから今、改めて人の温かさを実感しています。

最近、この地域には、私たちのように他地域から移住する人が大勢います。珍しいことです。同じ境遇の人がいることも心強いですが、何よりこの地域の人たちの優しさ、温かさによって支えられていると感じています。それが移住者が増えた要因でもあるのでしょうか。



杉本 宗徳さん  
(すぎもと むねのり)

平成12年、知人の紹介をきっかけに仙台市から移住した。現在はブルーベリー栽培をしながら奥様と2人で暮らしている。昭和21年生まれ。雄馬別在住。

### 山村留学生の声 自然の素晴らしさに感動

『北海道は何もない場所』という印象が強くなりました。実際に来てみて、確かに何もない場所かもしれませんが、きれいな空気やおいしい食べ物、たくさんの緑など、今までにない自然の素晴らしさに感動しています。

学校では、やっと少し周囲の人たちや環境にもなじんできた感じです。人数が少ないので、何をやるにしてもみんなで一緒にやるというのも新鮮な経験です。地域のイベントなどにも参加したりして、楽しんでいます。

今は、とても時間がゆっくりと流れている感じです。これから冬が来てスキーをしたり雪だるまを作ったりと、上美生での生活をまだまだ楽しみたいと思っています。



### 「やまなみ」の子どもたち

全国から集まった6人の山村留学生が、ふるさと交流センター「やまなみ」で生活している。子どもたちは上美生中学校に通いながら、地域との交流などを楽しんでいる。